

NPO 法人 京都コミュニティ放送
第 151 回 番組審議会

開催日時：2022 年 8 月 25 日（木）10：30～11：30

会 場：ラジオカフェ事務所、Zoom 併用

出 席：中村正、岡田真彰、岡田芳宏、岡本卓也、ジェフ・バーグランド、福井秀彦

欠 席：隅井美沙子

事務局：藤本香

ゲスト：「龍大ラジオタックル」<https://radiocafe.jp/200406001/>

毎月土曜日 16:00-16:30（30 分番組）

制作者：龍谷大学社会学部コミュニティマネジメント学科 2～3 回生 6 人

（出席：山根壮真 3 回生、脇阪宥衣 3 回生）

■審議番組：「龍大ラジオタックル」番組趣旨の説明

コミュニティマネジメント学科のラジオ実習という授業の一環で制作・放送している。発信を通して大学生が社会・地域を知ることが目的としている。もう一か所の放送地域である舞鶴には大学がないと知り、今回は高校生に向けて、大学生生活の紹介を行った。

■7 月 23 日の放送を聴いて審議に入った

- ・何を一番伝えたいか、趣旨がはっきりしている方が良い。おしゃべりの延長に聞こえる
- ・高校生をターゲットにするのであれば龍谷大学自体の説明と、学科や何を勉強できるかの紹介、直近にあるオープンキャンパスなどのイベント紹介といった形の学校紹介は必要があるのではないか
- ・楽しくて聴きやすい。小中高と異なる学生の本分では「分析」である。「分析に基づいた観察」の作業をラジオを通して見せてあげるのが高校生にとって良いように思う
- ・龍谷大学楽しそう、と思ってもらえるのでは。工夫としては、誰が話しているか分かるように名前を呼ぶ、コーナーごとにジングルをいれるなどがある
- ・楽しそうに話していると聞いているこちらも楽しくなる。「この時期にこの話をする」という見通しは立てられるはずなので、そこから、30 分の中で複数あるテーマに関してもどのテーマでどのくらいふくらませるか、など考えていけるとより良くなりそう。雰囲気はこのままで、変えて欲しくないと思う
- ・音は良かった（→スタジオ収録であることを補足）。男女の声の近さもバランスがとれていた。聴いているとイメージがふくらむような感じだと良い。コーナー切替は音楽でなくても、ちょっとした鈴などでも良い。龍大は加藤和彦など色々な人を輩出している。そうした人などに絡めて何かを追う、という企画もおもしろそう。

この審議会の議事録は 2022 年 8 月 26 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の 2022 年 8 月 26 日から WEB サイトで公開した。